

Inorganic Chemistry 1

2 units (selection)

Toshihiro Moriga · PROFESSOR / CHEMICAL PROCESS ENGINEERING, DEPARTMENT OF CHEMICAL SCIENCE AND TECHNOLOGY

Target) 化学の基礎学力をつけさせるために、無機化学の基礎を十分に理解させる。

Outline) 無機物質の構造及び性質を理解させるために、原子及び分子の構造、化学結合性を中心に易しく講義する。講義のはじめに適宜レポートを課す。

Keyword) *quantum numbers, electron configuration, electronegativity, bonding orbital, hybrid orbital*

Fundamental Lecture) “**Industrial Inorganic Chemistry**”(1.0)

Relational Lecture) “**Inorganic Chemistry 2**”(0.5), “**Inorganic Materials Science**”(0.5)

Notice) 授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。

Goal)

1. 元素の性質の周期性について理解する。
2. 酸素・二酸化炭素やメタンなど簡単な化合物の分子構造・対称性を理解する。
3. 身近にある簡単な無機物質の化学的特徴について理解する。

Schedule)

1. 水素型原子の構造
2. 原子軌道
3. 貫入と遮蔽, 構成原理
4. 原子パラメーター 原子半径およびイオン半径, イオン化エネルギー
5. 原子パラメーター 電子親和力, 電気陰性度, 分極率
6. オクテット則
7. 構造と結合特性
8. VSEPR モデル
9. 原子価結合理論
10. 分子軌道理論 入門, 等核二原子分子
11. 分子軌道理論 異核二原子分子, 結合次数
12. 水素, 水素化物, 水素結合
13. 1 族元素, 2 族元素
14. 14 族元素
15. 最近のトピックス
16. 最終試験

Evaluation Criteria) 到達目標 1 は、第 1 回～5 回の講義が、到達目標 2 は第 6 回～第 11 回の講義が、到達目標 3 は第 12 回～第 15 回の講義が関連する。到達目標の達成度は基本的に最終試験により評価する。講義終了後の最終試験により成績を評価 (60%), 授業への取り組み状況・演習問題の提出状況を加味し (40%), 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

Textbook) シュライバー・アトキンス 無機化学 (上) 第 4 版 東京化学同人

Reference) コットン・ウィルキンソン・ガウス著, 中原訳「基礎無機化学」培風館

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216428>

Student) Able to be taken by only specified class(es)

Contact)

⇒ Moriga (M603, +81-88-656-7423, moriga@chem.tokushima-u.ac.jp) **MAIL**
(Office Hour: Monday 4:30pm—5:30pm for 1st semester, Thursday 4:30pm—5:30pm for 2nd semester)